

九州観光推進機構 活動レポート

感動がある。物語がある。九州



— 2011年5月号 —

◆ 4月のトピックス

- **各県・観光連盟等海外担当者臨時意見交換会を実施**（4月8日：福岡市） ※震災による風評被害対応

東日本大震災で打撃を受けた外国人観光客誘致についての情報共有と対策検討を行うため、九州各県・観光連盟の海外担当者及び九州運輸局と臨時の意見交換会を開催しました。（26名出席）

会議では震災後の九州の状況や今後の取り組み等について情報共有を行ったほか、誘致対策として、九州安心メッセージ（後掲）発信の検討を行いました。今後も海外での風評被害の払拭等のため、関係者間で緊密な連携をとりながら対応していきます。

- **韓国・ハナツアーブロッガー九州取材を支援**（4月11日～13日：九州各地） ※震災による風評被害対応

韓国のハナツアーが東日本大震災後の九州の安全性をPRするために実施する、韓国人気ブロッガー100人による九州取材を支援しました。

これは東日本大震災後の外国人観光客誘致対策として、韓国人気ブロッガーに九州の魅力を取材していただき、ブログを通じた情報発信支援を行うものであり、その様子はNHK（九州）や日本テレビ（全国）でも取り上げられました。ブログでは、九州の安全性についてのコメントが多く掲載され、これらのコメントにより、今後多くの方が安心して九州を訪問してもらえるものと期待されます。

- **韓国・アジアナ航空「STUDY TOUR」を支援**（4月14日～17日：福岡、熊本、大分、宮崎） ※震災による風評被害対応

東日本大震災後の外国人観光客誘致対策として、韓国のアジアナ航空が実施する旅行会社ファムトリップ「STUDY TOUR」を支援しました。

参加者は、旅行代理店の責任者クラスの方であり、九州の現状・安全性を再確認いただきながら、訪問先の県で地元の観光関係者との活発な意見交換を行いました。参加されたアジアナ航空、旅行会社からは、今後、九州商品を積極的に販売していきたいとの意欲が窺われました。

- **台湾メディア及び旅行会社招請を支援**（4月21日～24日：宮崎、鹿児島） ※震災による風評被害対応

東日本大震災の影響により宮崎台北国際定期便も4月上旬から欠航が相次いでおり、この状況の打開を図るため、宮崎・鹿児島両県は、中華航空とのタイアップにより台湾のメディア10社及び旅行会社11社等から合わせて30人を南部九州に招請しました。

これに伴い、機構もバス運行等での支援を行い、台湾からの旅行者が安心して訪問していただける南部九州の現状の発信及び当地の観光PRを行ってまいりました。

- **平成23年度「九州観光推進機構担当者会議」を開催**（4月22日：福岡市）

今年度の機構の事業実施方針等について意見交換を行うため、九州運輸局及び九州各県の国内・海外事業担当者と同機構との「九州観光推進機構担当者会議」を開催しました。（全体で73名出席）



会議では、東日本大震災後の影響と対策について多くの意見が出され、九州一体となって効果的に対策を実施する必要性が強調されました。今後も、関係機関の意見を踏まえながら、国内外からの観光客誘致に取り組めます。

○「なないろ九州バス視察研修会」を開催（4月22日～23日：福岡、大分、宮崎、熊本）

「なないろ九州バス」の周知を行い、お客様の目線にたった商品企画や販売促進を図るため、機構会員として加入していただいている旅行会社の企画担当者及び店頭スタッフを対象とする「なないろ九州バス視察研修会」を実施しました。研修会では、通常運行している「なないろ九州バス」に乗車し、別府・由布院、高千穂・中九州コースを体験してもらいました。



参加者アンケートでは、『なないろ九州バス』に対して積極的に勧められる」との回答を多数いただくとともに、参加者から『なないろ九州バス』の特徴と改善点を肌で感じてもらったことは、同バスに対する意識が高まり、新たな商品企画及び販売促進に繋がる」とのコメントがあるなど、今後の誘客増が期待できる結果が得られました。今後も旅行会社と連携して宣伝を行っていくことにしています。

○ 香港・震災後再開ツアー第一弾を出迎え（4月22日～30日：福岡市）

東日本大震災後、香港旅行会社による訪日団体旅行の募集が中止されていましたが、このほど、大手2社（EGL、パッケージツアー）がいち早く4月16日以降出発の募集を再開し、4月22日にはパッケージツアー（18名）、同30日にはEGL（20名）の九州向けツアー第一弾が福岡空港に到着しました。



当機構は、九州運輸局、福岡県及び福岡市と連携し、到着ロビーで横断幕を準備して出迎えるとともに、スモールギフトを手渡して歓迎の意を表しました。参加者の帰国後、九州は安全・安心であることが口コミで知人・友人に伝わるのが期待されます。

○「地域放送コンテンツ海外展開実証実験」TVQ九州放送 最優秀賞を受賞（4月26日：東京）

「地域放送コンテンツ海外展開実証実験」は、総務省が①疲弊している地域コンテンツ製作力の再生・強化、②観光客誘致、地域の物産販売の促進による地域経済の活性化を目的に、昨年8月から全国を11ブロックに分けて、各地域協議会（九州は九州観光推進機構）を通して、地域の放送事業者・製作会社にコンテンツ（1本30分以上のCMを含む番組）を製作委託したものであり、海外放送向けに43本が製作されました。



各コンテンツは、2010年12月～2011年3月にかけて、中国、韓国、台湾、香港の東アジア地域を中心に海外の番組で放映され、内容理解、視聴後の訪日意向等で概ね良好な評価が得られました。放映終了後、「各国のニーズにあったテーマ設定」「ナレーションや説明方法」「シーン展開やテンポ」等の視点から海外放送に精通されたメンバーで構成する審査委員会（委員長：上智大学の確井教授）で審査が行われ、TVQ（ティー・ヴィー・キュー）九州放送が製作した「孫文を助けた九州人たち」が最優秀賞を受賞しました。その他、優秀賞には信越、四国、奨励賞は近畿、沖縄のコンテンツが選ばれました。このたびの実証実験の結果については、今後の海外放送のコンテンツ製作に活かされる予定です。

○ 中国・震災後初訪日ツアー、同行陝西省マスメディアを出迎え（4月29日～5月4日：九州各地）

※震災による風評被害対応

東日本大震災後、中国からの訪日ツアーが初めて催行され、陝西省西安市ツアー参加者40名が4月29日～5月4日の日程で九州を訪れました。福岡空港到着時、当機構は九州運輸局、福岡県、福岡市など関係機関と連携し、到着ロビーで出迎えるとともに歓迎セレモニーを実施しました。セレモニーでは当機構石原会長による歓迎挨拶を行い参加者に記念品を手渡しました。



その後、ツアー一行はハウステンボスや阿蘇、別府等を訪れた後、福岡市内で「博多どんたく港まつり」を観覧するなど、九州での滞在を満喫しました。

また、このツアーに同行する形で、陝西省の新聞・テレビ等マスメディア4社5名を関係各州市等と共同で招請し、九州各地で通常通り観光を楽しめる様子を取材してもらいました。この様子は現地で報道されており、九州の現状に関する誤った風評が早い段階で払拭されることが期待されます。

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 九州安心メッセージの発信

東日本大震災後の被災地復興、支援については、日本経済の活力維持・向上にとって重要であり、また、海外からの日本への訪日観光客の激減は大変憂慮すべき事態と考えております。

九州においても、日本復興に向けて、直接的な被害を受けていない現状について正確な情報発信が行うことが不可欠であることから、4月19日、九州では交通機関、宿泊・観光施設は通常どおりの営業が行われており大震災前と同様に九州の旅を楽しんでいただけることを伝える、九州安心メッセージ（右）を韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、英語で作成しました。

このメッセージは、当機構の各言語のホームページ上で公開するとともに、海外の関係機関・旅行会社等約200か所に発信します。

※メッセージ（日本語）掲載アドレス

<http://www.welcomekyushu.jp/welcome/index.html>

※現在のより詳しい情報を確認したい方のために、文部科学省（現在の各地の放射線量）など政府関係機関の情報等をリンク掲載。

<http://www.welcomekyushu.jp/welcome/link.html>

歓迎します！九州訪問
～震災以降の九州の状況について～

各位

春陽の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、過日発生しました東日本大震災につきましては、皆様方から多大なご支援やご声援をいただき、心よりお礼申し上げます。

被災された地域の皆様は、今後の復興に向けて懸命の努力をされておりますし、日本国民全員が日本の再建に力を合わせて取り組んでおります。

九州地域においては、大震災の被害地域から概ね1,000キロ以上離れており、交通機関やホテル・旅館、店舗、観光施設などすべての施設は大震災後も、これまでと同様に通常どおり営業しております。

我々の日々の暮らしも、変わることなく平常通りに営まれています。

このような状況でありますので、九州への訪問に関しては、どうぞ安心しておいでくださいますようお願いいたします。

私たちが、心から皆様方を歓迎いたします。

そして、多くの皆様が日本を訪問して元気づけていただくことが、被災地復興に向けた活力の源となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2011年4月19日

九州観光推進機構
会長 石原 進

○ 人事往来

本年5月1日付で事業本部スタッフの人事異動がありましたので、お知らせします。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

海外誘致推進部次長 小西 弘恭^{ひろやす} [日本航空株式会社]

○ 5月以降の主な予定

- ・台湾・メディア取材旅行支援（5月10日～14日：福岡、長崎、熊本） ※震災による風評被害対応
- ・「九州マスコミ会議」参加（5月11日：福岡市）
- ・韓国・九州オルレ現地視察（5月11日～14日：九州各地）
- ・中国「上海世界旅遊資源博覧会(WTF2011)」出展（5月12日～15日：上海市）
- ・エバー航空エージェント招請（5月15日～18日：長崎、佐賀、熊本）
- ・韓国への訪問団派遣（5月17日～19日：釜山広域市、ソウル特別市） ※震災による風評被害対応
- ・2011年度「第1回評議員会」開催（5月19日：福岡市）
- ・平成23年度下期「観光素材説明会・相談会」開催（5月20日、26日、27日、6月9日：東京、名古屋、大阪、福岡）
- ・2011年度「第1回理事会」「2011年度定時総会」開催（5月25日：福岡市）
- ・韓国・マスコミ招請（5月下旬：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・タイ・マスメディア招請（5月：福岡、大分、熊本、鹿児島） ※震災による風評被害対応
- ・シンガポール・マスメディア招請（5月：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・情報誌「南国風」制作支援（5月：中国各地）
- ・モータースポーツ関連メディア招請（6月2日～8日：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・韓国「JNTOアウトバウンド商談会」参加（6月3日：ソウル特別市）
- ・香港「国際旅游展(ITE2011)」出展（6月9日～12日：香港）
- ・中国「ビジット・ジャパン合同観光説明会」参加（6月16日：北京市）
- ・タイ・テレビ局招請（6月：九州各地） ※震災による風評被害対応
- ・韓国・大手映画ロケ隊支援（6月） ※震災による風評被害対応
- ・韓国「プサン商談会」（7月7日：釜山広域市）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾、川添

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp